



木の家だいすきの会 通信

2016年8月発行

特定非営利活動法人 木の家だいすきの会
E-Mail: office@kinoie.org
URL: http://www.kinoie.org
facebook:
http://www.facebook.com/NPO.KinoieDaisuki

■東京事務所 & 木の家づくりの相談空間
〒102-0081 東京都千代田区四番町3-10 番町 MKビル 301
TEL 03-6261-2970 / FAX 03-6261-2971
■所沢事務所
TEL 04-2937-7344

コラム：設計者の目

今回は、設計者・市川均さん（アーキネットデザイン）のコラムです。

木使いのすすめ（その2） ～ 外壁にも木を使おう ～

アーキネットデザイン・市川均



前回のコラムに引き続き、出来るだけ多くの場所に木を使って欲しいとの思いから、木使いのすすめ（その2）として、外壁に木を使うことを以下に写真を交えてご紹介します。

■外壁に木を使おう

外壁に木を使いましょう。実は、一定の条件をクリアすれば準防火地域でも外壁に木を張ることが出来ます。ただ、樹種の選定の際には、防火や防腐や塗装の向き不向きに留意しなければなりません。特に、塗装する場合は必ず木に浸透する塗料（木材用のステイン）を塗りましょう。アメリカやドイツの塗料メーカーから様々な色が販売されています。メンテナンスとして、数年から10年毎には塗り重ねていくことになりますが、塗装の良い所は、外観のイメージチェンジが出来ることです。また、縦張り、横張り、ラップ張りなど張り方によっても様々なデザインが楽しめます。皆さん、外壁に木を張って色をつけて楽しむのも良いですよ。



外壁の一部にアクセントとして無塗装の縦板張りとししました。無塗装としたのは、新しい木の色が徐々に変化しグレーになっていくのを楽しむためです。

■防火にも有効な焼杉を使おう

関東地方では珍しいですが、防火性と耐久性に優れかつ安価な焼杉は、意外とモダンなデザインにも相性がよく、若い人たちには『カッコいい』と評判です。但し、もともと焼くことによって薄くなっている杉板です。ある程度反ったり、抜け節が出来たりはします。もちろんそれで雨漏りすることはありませんが、このような木の特性（短所）も受け入れることが出来れば、悪くない素材です。何と言っても塗装していないのである程度はほったらかしに出来ますが、炭は徐々に落ちてしまいますので、将来は、黒く塗装するか、張替え又は上から張り増しすることになります。

■屋根の軒裏や破風に木を使おう

これは防火規制によっては使用出来ませんが、可能な場所であれば木を使うこともオススメです。理由としては、一般的な窯業系の防火板を使用すると定期的に塗装をする必要があり、メンテナンスに手間や費用が掛かるからです。デザイン的にも無塗装の無垢板を使用する場合があります。

以上の提案は、十分に木の特定に配慮して、設計し、施工することが、大切ですので、良く専門家と相談して下さい。



外壁の一部に焼杉を張った事例。白と黒のコントラストは和風モダンなイメージです。



都心に建つ全面に焼杉を張った事例。周辺の新建材の外観の家の立ち並ぶ中にひととき目を引きまします。



屋根裏や外部の木部に塗装を施した事例。このように比較的容易に手がとどき、メンテナンスしやすい場所に木を使うこともオススメです。

住み慣れた住まいを、プチリフォームで快適に

住み慣れたお家も、長い年月を経て、いろいろな不満や改善したい部分が出てくるものです。

先日工事が完了した所沢でのプチリフォームの事例を通して、住み慣れた住まいを、気持ちよく、快適にするプチリフォームをご紹介します。

どうにかしたい 寒い!暗い! 築33年のお家

「寒い」「暗い」をどうにかしたいとご相談をうけ、お家に伺った際にコートを開いたことを後悔するくらい底冷えするお家でした。冬場の朝は1階で3℃になるとのことでした。

床下を拝見すると、断熱材は入っていませんでした。サッシは築33年なので、シングルガラスです。

設計の相談したいけど、予算はそんなにない

リフォームの場合、工務店さんのみで対応することもあります。耐震の相談や、キッチン周りの収納の相談など・・・予算はそんなにかけられないけど、設計者さんのアドバイスも欲しいというのがお施主さんのお気持ちでした。

そこで、今回の場合は、フルの設計ではなく、込み入った部分のみ設計者さんに図面を書いていただくスポット的な設計監理スタイルを進めました。

木の家だいすきの会では、お施主さんのご要望を考慮し、工務店さんだけで対応してもらい、設計者さんにスポット的に入ってもらうなど・・・お施主さんにあったリフォームをアレンジします。今回のリフォーム内容は、床下の防湿コンクリート打設、床下断熱、窓断熱性能向上、窓新設、無垢床板にはりかえ、床暖房、キッチン入れかえ、キッチン収納造りかえ、手すりや玄関ベンチを新設でした。明るい室内になり、効果がよくわかる今冬がお施主さんも私も楽しみです。

補助金の活用もご案内します

今回は、経産省の住宅省エネルギー促進事業の補助金を活用しました。その時々で補助金を活用したご提案をいたします。お気軽にご相談ください。

理事
コーディネーター
山本 幸恵



リフォーム前

工事中



キッチン・ダイニング・リビングはヒノキに（床暖房も）



ダイニング脇にパソコンコーナーを

以前使っていた米びつが納まるキッチン収納

（ウラに続く）